

# モチベーションアップ マネジメント

～誰でもできる超シンプルなしかけ～

## 【現状・地方自治体を取りまく環境】

- ①権限移譲や新規事業など、事務量が増加
- ②財政難（今後、更なる歳入の減少も）
- ③人員削減（一人ひとりの持ち分の増加）
- ④長期療養職員の増加（心因性の病気の急増）
- ⑤際限のない給与カット（更に8%カットも…！？）

この現状を打破するためには…

職員の意識改革・個々の職員の能力向上・理想とする公務員像の明確化により

**個々の職員のモチベーションを高めて業務に取り組むしかない！**

## 【課題解決策の検討】

でも、自治体規模やトップの考え方の違いなど、団体ごとに事情は異なるし…

給与制度改革や人事考課システム導入、研修制度改革などは、逆に職員の負担が増えるだけでは…

新しい取り組みにまわす財源もないし…

だからこそ

**時間とお金をかけず、誰にでもできるシンプルな仕掛けが必要！**

## 【3つの提言】

バリアフリー・コミュニ  
ケーションの構築

シンプルな  
職員評価制度の構築

福利厚生制度の改善

その結果

**自ら考え自ら行動する職員の育成・質の高い行政サービスの実現**

住民からの信頼アップ

好循環・相乗効果

職員のモチベーションアップ

仕事の効率・能率アップ、住民福祉の向上、ワークライフバランスの向上

## 目次

はじめに	3
第1章 現状分析	4
第1節 地方公務員を取り巻く社会・経済情勢等の変化について	4
1 権限移譲等に伴う事務量の増大	4
2 地方公共団体の財政状況	4
3 地方公共団体の人員状況	4
4 長期療養休暇の職員状況	5
5 地方公務員の給与状況	5
第2節 現状分析と課題の抽出について	5
1 班員によるブレインストーミング	5
第2章 解決策の検討	6
第1節 解決策の洗い出し	6
1 班員によるブレインストーミング	6
2 地方自治体の中堅職員の意識調査	7
3 業績を伸ばしている企業の取り組み	8
第3章 提言する施策	9
提言1 バリアフリー・コミュニケーションの構築	9
提言2 シンプルな職員評価制度の構築	13
提言3 福利厚生制度の改善	15
終わりに	16

## はじめに

近年の地方公共団体を取り巻く社会環境は、住民意識の多様化、インターネットの急速な普及をはじめとする IT 社会化や団塊世代の一斉退職など、急激な変化を迎えており、また、地方公共団体の組織内部においても、「集中改革プラン」に則った財政の健全化を目的とする定員管理の適正化や指定管理者制度・PFI 事業の活用など、より一層の事務事業の効率化が求められています。

一方で、地方公務員の長期療養者は、年々増加の一途を辿っています。地方公共団体におけるメンタルヘルス対策は、職員の健康管理や安全配慮義務の履行を目的とするだけでなく、個々の職員の職務遂行能力や職場の活力の維持・向上を図るためにも推進していくことが求められています。

そこで、職場内のモチベーションアップ、職員が明るく、楽しく元気に働ける職場環境にしていくための施策研究に取り組みます。